

2025 年 12 月 26 日

連結子会社(第一フロンティア生命)の資本金および 準備金の額の減少に関するお知らせ

第一生命ホールディングス株式会社(代表取締役社長グループ CEO: 菊田 徹也、以下「当社」)は、本日、当社の連結子会社である第一フロンティア生命保険株式会社(代表取締役社長: 明石 衛、以下「DFL」)が、資本金および準備金の額の減少(以下「減資」)を行うことを決定いたしましたので、お知らせいたします。

DFL は 2006 年の設立以来、主にお客さまの資産形成および資産承継に資する貯蓄性保険商品の開発・提供を行ってまいりました。DFL は、キャッシュフロー・マッチング運用や商品への MVA 機能の付加等、厳格な ALM を行うことで市場リスクの抑制を図っておりますが、DFL が取り扱う貯蓄性保険商品の多くは、販売時の費用負担および資本負荷が相対的に大きい商品であり、開業後の事業拡大に応じて複数回の増資を実施してまいりました。その結果、同社の資本金は 1,175 億円、資本準備金は 675 億円(2025 年 12 月時点)となっております。

現在、DFL は、現行のソルベンシー・マージン規制(以下「現行規制」)を遵守する観点から、十分な資本水準を確保しております。その一方で、今年度末より、現行規制から経済価値ベースの新たな規制に移行することとなり、新規制において求められる資本水準を踏まえた場合、一定程度の資本解放が可能となる見通しとなりました。

このような状況を踏まえ、関係当局の認可等を前提として、当社グループが掲げる資本循環経営の考え方に基き、グループ内資本の効率的な活用を図るとともに、DFL における資本政策の柔軟性向上、機動性確保および資本効率の改善を目的として、DFL の健全性を十分に勘案した上で、同社の資本金および資本準備金を減額することいたしました。

本減資により増加する剰余金の取扱いについては、2025 年度の利益に基づく配当金の水準等も踏まえつつ、当社への配当も念頭に置きながら、当社グループ全体の資本政策に基づき検討してまいります。

当社への配当が行われた場合には、当該資本は、資本循環経営の枠組みのもと、成長事業等への再配分を通じて、当社グループ全体の資本効率および企業価値の向上に資するものと考えております。

本件減資の詳細につきましては、DFL のホームページにて、本日付でリリースしております。

関連リリース(DFL) : https://www.d-frontier-life.co.jp/corporate/release/pdf/2025_0013.pdf

なお、本減資は、関係当局の認可等、必要な手続きが完了することを前提として実施されるものであり、今後の実施状況等により、実施時期や内容が変更される可能性があります。

当社グループは、今後も持続的な成長と企業価値の向上に向けて、資本効率を重視した経営を推進してまいります。

以上